



希望のぞみを届けます



Vol.116 2020年11月議会報告

田中のぞみ★市政News

（コロナ時代の地域共生社会）

岡山市は、地域共生社会推進計画（地域福祉計画）を今年度中に改定予定です。福祉分野の最上位計画ですが、コロナ課題は取り上げられておらず、「8050問題」も文言が消えています。コロナ禍で格差が拡大する中、いよいよ見えにくくなる地域の困難世帯を発見し、つなげ、支える「公助」の仕組みが必要です。

田中議員は、全世代に対応し、訪問型で社会福祉士など専門職のいる地域の福祉拠点を中学校区単位で整備すべきと求めましたが、その予定はないとの冷たい答弁でした。

今年も力あわせて
がんばります



森脇さん、糸江さんと(1/4新春宣言)

（福祉避難所の充実を）

71ある福祉避難所の多くが高齢者施設です。コロナ禍では、外部の避難者を受け入れることは難しくなります。配慮が必要な人について、約650室確保しているホテルなどの優先的利用を求めました。臨機応変に対応したいとの答弁でした。

（障害児保育の充実を） 重度障害児の受け入れを検討

認可保育施設182園のうち、障害児の拠点園は11園（定員各10名）しかありません。専用室と2人に保育士1人が保障される拠点園は希望者が多く、障害の程度ではなく保護者の就労点数で競争させられています。新設の市立認定こども園にも専用室は設けられていません。

田中議員は、市立園での障害の程度に応じた拠点性の向上と、私立園での保育士加配基準の明確化や補助金の拡充など、制度の根本的見直しを強く求めました。これまで軽・中度障害児のみだった受入れ対象については、今後は重度障害児も検討すると答弁がありました。

（障害福祉計画）

障害福祉計画等も今年度中に改定予定です。グループホーム500～600人分の整備、相談支援専門員の増員と質向上等、相談支援体制の充実などが盛り込まれています。

